

社外重役

Selected Clients & Professionals Relationship

発行)株式会社ノースアイランド
 東京本社)東京都千代田区丸の内3-2-3 富士ビル5F
 Tel.03-3216-2004 Fax.03-3216-0439
 大阪支社)大阪市北区中之島3-3-23 中之島ダイビル9F
 Tel.06-6448-2004 Fax.06-6448-0539

人 事

20代、ノマドワーカーに憧れ60% 定年一中高年者も働き方に注目

ノマドワーカーという単語は2009年頃から若者の間で使われ始めた造語。独立してフリーな立場で仕事をする自営や自由業で働く「一人社長」。最近、就職して2～3年程度で退職するノマドワーカー予備軍が目立つ、と調査したNTTアドがその背景を分析した。

それによると終身雇用制度崩壊、転職の常态化、派遣等の働き方の多様化などに加え、リーマン・ショックといった経済構造変化と産業空洞化—国内不況があるという。一方、様々なIT機器出現でノマドスタイルを助ける環境が整い、電子出版など伝統的産業体系が壊れつつあり、若者が独立しやすい風土が醸成されつつある。さらに大きな要因は、企業名や地位・収入といった既存の客観的ブランド価値にあまり関心を持たなくなったこと。価値を「自分らしさ」や「やりがい」といった主観的なブランド価値を重視し、不安定な収入にもめげず自己実現しようとする20代の姿はたくましい。

同調査では、20代で入社3年目の早期退職者の60%がこのノマドワーカーに憧れているという。しかし自由な半面、専門性や発想力、積極性、自己表現力が要求される厳しい現実が待っている。定年後の中高年も立場は自由だが、現実の条件は定年前より厳しい点では若者と同じ。若者は「やりたいこと」に挑戦するが、中高年は「今自分にできること」を拡大する工夫・努力が必要だ。ノマドはリスクと表裏関係である。

税務会計

赤字法人5万2千件の実地調査で 1割強の約6千社が黒字に転換!

今年6月までの1年間(2010事務年度)における法人の黒字申告割合は25.2%と3年連続で過去最低を更新した。7割強の法人が赤字だが、このような状況に便乗して実際は黒字なのに赤字を装う企業が後を絶たない。

2010事務年度中に法人税の実地調査をした12万5千件のうち4割強にあたる5万2千件は無所得申告法人の調査に充てられ、うち1割強の約6千社が実際は黒字だったことが、国税庁のまとめで判明した。

調査結果によると、実地調査した5万2千件のうち約7割にあたる3万6千件から総額6,592億円にのぼる申告漏れ所得金額を見つけ、加算税額を含む488億円の税額を追徴した。調査1件あたりの申告漏れ所得金額は1,263万円となる。

また、実施調査したうちの約4件に1件(24.0%)の1万3千件は仮装・隠ぺいなど故意に所得をごまかしており、その不正脱漏所得金額総額は1,605億円にのぼった。

2010事務年度の無所得申告法人調査は、東日本大震災の影響から前年度に比べ7.3%減の実地調査を行い、申告漏れ件数も7.1%減、不正計算のあった件数も6.4%減となった。

この結果、黒字となった法人が約6千社あったわけだが、調査で把握された1件あたりの申告漏れ所得1,263万円は、前年度から約4割減少したものの、法人全体の平均1,007万円を大幅に上回る。不正申告1件あたりの不正脱漏所得金額は1,279万円となっている。

今週のキーワード

ノマドワーカー

ノマドは「遊牧民」を意味する英語。自宅やオフィスの机といった1か所に固定せずネットカフェやレストランなど、さまざまな所を自分の仕事場にする人。iPhoneのようなスマートフォン、iPadなどのタブレット型コンピュータを駆使し情報をいつでもどこでも入手し、保存、送受信する。時間と経費の節約、自分の好きな場所を選べる、アクセスや天候に影響されない、などの利点があるが、自己管理が成否を分ける。

※配信先の変更、配信停止のご希望はお手数ですが Tel.03-3216-2004 または info@knowsi-land.jp までご連絡ください。